

幼稚園児と小学生が交流

すみれ幼稚園(町田幸子園長)で7月7日、年長組の園児と三島小学校(鈴木敏一校長)の1、2年生による交流が行われました。



手づくりのアトラクションを楽しむ子どもたち

た。この交流は、就学前教育の充実を目的に、町田園長が「ご近所」である三島小学校の鈴木校長に声をかけ実現しました。この日は、部屋いっぱい広がり、部屋いっぱい「忍者の世界」

手作りのお茶でほっと一息

伊奈東中学校(直井光一校長)で5月12日、「お茶祭り」が開催されました。

この日は1年生の生徒77人が、地域の皆さんの指導の下、昔ながらの製法でのお茶づくり

で、手裏剣の的当てや、紙のお団子を食べたりと子どもたちは夢中になって遊びました。

町田園長は「園児にとつてはお兄さんお姉さんに日頃の成果を見せられる良い機会。小学生にとつては自分が幼稚園の時を振り返り、成長を実感する機会になる」と話し「三島小学校と

を体験しました。生徒たちは、学校付近のお茶畑であらかじめ摘んでおいた茶葉をかまどで蒸し、「焙炉」と呼ばれる製茶用の乾燥炉に茶葉を広げ、ほぐし、こね、もむ作業を何度も繰り返して乾燥させました。

できあがったばかりの新茶を試飲した生徒たちは「手作りは香りがいい」「おいしい」と笑顔を見せ、和菓子と一緒に味わっていました。

第9回小絹コミセンまつりが開催

小絹コミュニティセンターで7月3日、「第9回小絹コミセンまつり」が開催されました。



コミセンまつりの様子

当日は、小絹中学校の吹奏楽部による演奏や小絹小学校の児童たちによる合唱、ピアノやオカリナ演奏、人形劇など、小絹コミュニティセンターを拠点に活動しているさまざまなサークルや団体の皆さんが出演し、日頃の活動の成果を発表しました。

コミセンまつり実行委員の高橋さんは「たくさんの方にお越しいただき、うれしい限り。今後も地元の文化団体の発表の場として末長く続けたい」と話してくださいました。



焙炉で茶葉をもむ生徒たち

人権擁護委員の相島さん 全国人権擁護委員連合会より表彰

水戸市の茨城県立県民文化センターで5月26日、当市人権擁護委員の相島宏さん(下平柳)が、長年に渡る人権擁護委員としての活動の功績が認められ、全国人権擁護委員連合会会長表彰を授与されました。



表彰を受けた相島さん

すみれ幼稚園は歩ける距離なので実現できた。こういった交流

がもっと広がってくれば」と話してくださいました。

シルバリーハビリ体操指導士の大下さん 茨城県から感謝状贈呈

茨城県立健康プラザにおいて5月11日、長年にわたりシルバリーハビリ体操指導士として地域住民の健康づくりや介護予防の推進に貢献された方々に対して謝意を表し、茨城県から感謝状が送られました。

本市からは昨年に続き、新たに指導士の大下誠治さん(谷井田)が県立健康プラザ管理者賞を受賞しました。

シルバリーハビリ体操指導士は、茨城県が養成する、介護予防に有効であると認められた「シルバリーハビリ体操」の



感謝状を手にする大下さん

普及活動を行うボランティアです。

高齢化が進むなか、自らも介護予防に取り組み、互助精神に基づいた活動を行うシルバリーハビリ体操指導士のますますの活躍が期待されます。